

丁にいりくるた

今年をふりかえると
いふんは二と九

あつた

へるた、同志のりごんざ

あつた紅赤の妻愛

服房田舎のとりがえ

平和と思つたが昔せつたつといろ

妻の男が来た

お金がないと困つた二ともあつた

今年はおと二十日で終る

とたかくまうくの年おつたと思つていら

交達の正かう丁へふんうをしんうその

うけ便少ねていりせい

と言つたたと少た力をあとした様子

もうあふた九十あ

いふたあつても不思議であ

思い出を頼いてくわんけ
あつたあつたの

思つていろ

いろんあふたあふたあふたあふたあ

そのくりかえしが人生としたう

